



皆さまや社会にとって、
かけがえのない存在であり続ける

社会福祉法人
蓬愛会 理事長
一般社団法人
栃木県老人福祉施設協議会 会長
公益社団法人
全国老人福祉施設協議会 会長

大山知子

略歴

平成 3年 6月 特別養護老人ホーム而今荘 施設長
平成22年 5月 栃木県老人福祉施設協議会 会長
平成22年 8月 社会福祉法人 蓬愛会 理事長
平成30年 4月 関東ブロック老人福祉施設協議会 副会長
令和 元年 6月 全国老人福祉施設協議会 副会長
令和 5年 6月 全国老人福祉施設協議会 会長

私の 想い

日本は今、少子高齢化や物価高騰などの問題に直面しております。厳しい立場ではありますが、我々社会福祉法人及び施設の存在意義を改めて再定義し、地域の皆さまに支えられる施設運営に努めていきたいと考えております。

頂いた重責は大きいですが、しっかりと責任を果たせるように取り組んで参ります。

最後に

私の理念は「素早いキャッチと行動力」です。現在における生活サイクルは、常に情報戦となっております。常にアンテナを張り巡らせ、行動し続けないと現場の声を反映させることは難しいので、確かな情報に基づきながら前のめりに取り組んでいく所存です。

皆さまのお力添え、ご協力何卒よろしくお願いいたします。



社会福祉法人蓬愛会

(特養、養護、ケアハウス、小多機、グループホーム、保育園、介護福祉専門学校、各種在宅サービス等)

栃木介護福祉士専門学校 (栃木県初の介護福祉士養成校)

昭和60年 社会福祉法人蓬愛会認可

平成 3年 厚生大臣より介護福祉士養成施設校として認可

平成 3年 栃木県知事より専修学校として認可

令和 4年 校舎を新築移転

理念と強み

「人を愛し」「思考し」「今を大切に」

○ **介護福祉学科のみの単科校**

介護に関わる専門的学習を集中して行える

○ **法人内で10ヶ所の福祉施設を運営**

現場に密着して実習教育を実施することができ、専門性を高めることが可能

○ **求められる介護福祉士を育成**

現場でのニーズを常に把握できることから、今どのような人材が必要かを素早くキャッチし、教育へ反映させることが可能



学校運営の現状

生徒数は依然厳しい状況ではあるが、最近では卒業生の子供が入学するといったケースもある。
 なお日本人は減少傾向にあり、来年度の定員の半数程度は留学生となっている。
 留学生達は国ごとのコミュニティがあり、卒業生や先輩の勧めで全国の日本語学校から入学してくる。



中長期の展望



旧校舎



新校舎

原 点

介護福祉士と看護師は対等の存在
 であり、それぞれの専門性を活かして
 互いを尊重しながら利用者のケアにあ
 たることが大切である。

令和4年に校舎を新築移転し、新しい学びの場が誕生

現在は生徒を確保できているが、**少子化が進行しており若い世代の数は減少しつつある**ため、今後学校運営が厳しくなることも予想される。

そのため、**新校舎はいつでも地域で暮らす高齢者等のニーズに合わせて、他の種別に転換できるように設計**している。